



発行所 二輪車新聞社
〒105-0004 東京都港区新橋6-7-1
川口ビル 203 (3436) 1 3 1-1
接骨ビル 00190-7-38825番
編集長 伊木 村 玄

大阪支社 〒530-0003 大阪市北区堂
島2-2-23 白銀ビル 206 (6341) 3997
週刊・毎週金曜日発行
購読料 1 年 1,200円+税
www.nirin.co.jp

3 銘柄の輸入販売元に

ランプレッタ/ファンティック/SYMを加速



野口英康代表

2020年末、イタリ
アのランプレッタ、ファ
ンティック、台湾SYM
の二輪車3ブランドなど
の輸入販売元であった野
口英康氏が就いた。20
21年の販売目標を全ブ
ランドの活動について取
材に応じた。
20年は3ブランドの販
売開始から数年のため、
販売は伸びる一方、た
ととして、市場はコロ
ナ禍でも前年を越えた販
売メーカーの強さが、ブ
ランド力があることが、
と指摘。多くのユーザー
は設計に不安があるま
まには購入せず、買った
ら3ブランド力のある
製品に限ると述べ、
「一輪車市場は原付二輪
や軽二輪で前年を若干超
えるが、全体では減少が
前年並みにとどまるとみ
ている。輸入車は一部を
除き有力ブランドでしか
ない状況と指摘する。
「こうした中、同社の販
売は3ブランドともに取
扱いがまた数年にすぎ
ず、ほぼゼロからのスタ
ートとなる伸びが、
論議。取扱店も主に地方
を中心に、都心の販売店
の取り扱いは予想以上に
拡大したと述べる。
ランプレッタの販売は
徐々に軌道に乗り、同時
に知名度も高まったとい
う。特にファンティック
が強い製品のため、従来
からの販売店以上に店舗
の特性も取扱を左右する
ため、時間はかかると思
えていたが、8年目につ
いて実を結びつつあると明
かす。
一方、ファンティック
は20年が本格的活動のス
タート。昨、一輪車市場は
各社の小規模な輸入店
が中心で、異なれば販
売は提供してはいたが、
その店頭でも積極的な
販売店の展示や結果会
の実施で、特にキャブレ
トシリーズについては手
握る知名の高まりが、
だったと強調。取扱店も
加速的に拡大を見せてい
るという。
他方、台湾SYMは品
質や商品力に魅力があり
ながら、SYMの製品は運
送費が高いため、
取扱店を徐々に増えた
という。
20年のコロナ拡大によ
る製品の入荷への影響に
ついては、適切な需要の
読みや強固な海外本拠と
の連携が奏功し、各ブ
ランドとも部品、車両の供
給には問題がなかったと
述べる。
千タリストの活動初
年度となる21年につ
いて、スタッフは「いまで
は顔ぶれが基本的なその
まま移籍する」という。
新会社について野口代
表は「独立して会社を設
けたい」という意欲を
示した。
「千タリスト」は、
分野の自由
な増進を
まで以上
の姿勢を
示している。
3ブランドの輸入販売
元として野口代表
の実績を信頼し、各ブ
ランドのコミットメント
によって培われてきた。
従って新会社でも正規輸
入元としての契約を継続
させ、製品や部品の供給
はこれまで通り、取扱店
に供給できる体制で「
」。

雑誌掲載記事集
2021年1-3月 FANTIC

- 1. 3銘柄の輸入販売元に (MOTORISTS紹介)
2. オートショップヨシマサ、ファンティック&ランプレッタ取り扱い開始
部品供給は最重要。「正直な商売」信念に (編集長インタビュー)
伊ブーツTCXオフ用取り扱い開始
3. 2021モデルオフロードバイク大試乗会
4. オンもオフも走れるってスバラシイ (Scrambler女性ユーザー紹介)
5. WeBike紙上モーターサイクルショー (Fanticブランド紹介)
6. ちばるのふらっと食わせろ〜 (Flattrack250旅)
7. オフロードモデル大試乗会in成田
8.-12. 海から湖へと作られし大地をゆく (Rally500旅)
13. モデル紹介 (カタログ記事)
14. クリエイターが求めるカッコよさ (加藤ノブキさんインタビュー)
15. ランプレッタなどの輸入代理店が新会社モタリストに移行
N-Vanに積むスクランブラー
16. はしゃぎたい奴あついてこい! (Scrambler500紹介)
17. モタリスト・ファクトリーがOPEN!
18.-20. トップインタビュー (MOTORISTS代表インタビュー)

二輪車新聞 1月1日号
二輪車新聞 1月15日号
二輪車新聞 2月19日号
二輪車新聞 2月26日号
Under400 2月号
Under400 1月号
WeBikeマガジン
WeBikeマガジン
ダートスポーツ 2月号
タンデムスタイル 2月号
モトチャンプ 2月号
タンデムスタイル 3月号
ヤングマシン 3月号
単車倶楽部 2月号
単車倶楽部 2月号
単車倶楽部 3月号
BDS Report 3月号

Under400
(クレタ)
20年12月号

二輪車新聞

発行所
二輪車新聞社
〒105-0004 東京都港区新橋6-7-1
川口ビル 303 (3436) 1311
掲載日 00190-7-38826番
編集長 野口康夫
代表取締役 野口康夫
大阪支社 〒530-0003 大阪市北区
堂2-2-23 日ビル 206 (6341) 3997
週刊・毎週金曜日発行
購読料 1部 300円+税
12部 14,000円+税
www.nirin.co.jp

部品供給は最重要

モーターリスト合同会社 代表 野口康夫氏



取材に答える野口代表

「正直な商売」信念に

ファンティックやモーターのランニング、SYMのランニング、機軸入発売元や往年米、新たに設立されたモーターリスト合同会社(東京都大田区)に拠った。同社園業者の野口康夫代表は、「安心して提供するのが目的です。商品を提供する側も、安心して商売したいと考えています。お客様には、モーターが扱っている商品の中で、『遊ぶ』というイメージを定着させることを第一に、



「遊び」が重要で、先にもお話し通り、弊社が扱っている部品は、お客様が安心して使えるように、品質を第一に考えています。販売元が安心・信頼で、お客様が安心して使えるように、品質を第一に考えています。

「玩具箱」風ファクトリー開設

「遊び」が重要で、先にもお話し通り、弊社が扱っている部品は、お客様が安心して使えるように、品質を第一に考えています。販売元が安心・信頼で、お客様が安心して使えるように、品質を第一に考えています。

二輪車新聞

発行所
二輪車新聞社
〒105-0004 東京都港区新橋6-7-1
川口ビル 303 (3436) 1311

二輪車新聞

発行所
二輪車新聞社
〒105-0004 東京都港区新橋6-7-1
川口ビル 303 (3436) 1311
掲載日 00190-7-38826番
編集長 野口康夫
代表取締役 野口康夫
大阪支社 〒530-0003 大阪市北区
堂2-2-23 日ビル 206 (6341) 3997
週刊・毎週金曜日発行
購読料 1部 300円+税
12部 14,000円+税
www.nirin.co.jp

伊ブーツTCX オフ用取扱開始

モーターリストの採用シェアが高いことから、信頼性の高いホールド感、堅牢性、なじみやすいソール、安全性の高い商品を作り高い評価を得ているという。ソールやストラップなども個別に発注でき、長い期間におよび履き続けられ、コストパフォーマンスに優れているとされている。

用され、フラットトラックやアシスレスのよう、左回りのトラックでモーターサイクルをフルバンクさせながら駆け抜ける競技のための専用設計されたモデル。

「オートショップ」ミニサファンティック、ミニプレッタ取扱開始

ファンティック、ランプレッタの取扱店として20年11月より、オートショップヨシサ(大阪府高槻市、神崎弘明社長)が営業を始めた。同店はファンティックプロショップとしても運営。試乗会や展示会の開催、アフターサービスで顧客のバイクライフを支援する。代表の神崎氏やスタッフも車に乗ってユーザーと一緒に遊ぶなど、時点でのイベントも関西圏の関連のイベントへ積極的に参加している。

「オートショップ」ミニサファンティック、ミニプレッタ取扱開始

ファンティック、ランプレッタの取扱店として20年11月より、オートショップヨシサ(大阪府高槻市、神崎弘明社長)が営業を始めた。同店はファンティックプロショップとしても運営。試乗会や展示会の開催、アフターサービスで顧客のバイクライフを支援する。代表の神崎氏やスタッフも車に乗ってユーザーと一緒に遊ぶなど、時点でのイベントも関西圏の関連のイベントへ積極的に参加している。

発行所
二輪車新聞社
〒105-0004 東京都港区新橋6-7-1
川口ビル 303 (3436) 1311

2021モデル オフロードバイク大試乗会 in プラザ阪下

吉田 朋 : 文 text by Tomo Yoshida
夏目 健司 : 写真 photo by Kenji Natsume



開催日/2020年11月3日(火・祝) 開催場所/大阪府・プラザ阪下 主催/JECプロモーション

①多くのメーカーはコンペティションモデルを持ち込むが、ファンティックのようにスクランブラー系を乗ることもできた。こちらはモトクロスコース内ではなく、別コースでの試乗になった



②車両メーカーだけでなく、ショップ単位で車両が持ち込まれる。こちらはサスペンションを手がけるテクニクスのブース。サスペンションに手が入ったYZ250FXとKLX230Rを用意していた

最新モデルの実力を一気に試すことができる絶好のチャンス!

全日本エンデューロ選手権を取り仕切るJECプロモーションが、年末にかけて東西で開催するオフロードバイク大試乗会。なぜか、この2021年モデルを多数持ち込み、いろいろなマシンの性能を試せるから。今回取材に足を運んだのは、大阪府にあるプラザ阪下だ。

朝早くから大勢のライダーが会場に姿を現し、試乗の開始を待ちわびていた。基本的にプラザ阪下のモトクロスコースを1台2周走れる。そのため注目のマシンは行列ができるものの、長時間待つということもない。ちなみに自分のマシンでも別コースを走れるとあって、丸一日オフロード走行を満喫できるため、毎回にぎわうイベントなのだ。

なお、コンペティションモデルだけでなく、トレールモデルを持ち込むメーカーもあるので、オフロードデビューをするのもうってつけ。気になる人は9月末くらいからJECプロモーションのホームページをチェックしよう! 事前申し込みが必要なので、お忘れなく!!



③お昼休みにはデモレースが開催される(こちらは試乗車ではなく、個人所有の車両で走行する)。参戦して楽しめるし、観るのも楽しい



④会場内にはウエアをはじめとするオフロードギアを扱うショップのブースや、個人がフリーマーケットを展開。休憩がてら見て回るのも楽しい

ハナチャンさん
profile
アメリカ映画で見たクルーザーや主人公、シーンにあこがれてバイクの免許を取得、理想と現実で足踏みした期間を経て今の愛車に出会った。バイクがなくては出会いや縁を大切にしている。今はバイクショップでアルバイトをしている。身長167cm

写真・文・NANA-KO



FANTIC CABALLERO SCRAMBLER250

My Bike



ハナチャンの人生を変えたといってもいいくらい、びったりハマったファンティック・キャバレロスクランブラー250。彼女を行動的、社交的な性格へと変えた立役者。単気筒250ccの車体はハナチャンが以前乗っていたクルーザーに比べたらかなり軽い。見た目も美しくかわいく、カッコいい、ハナチャンの“オンもオフも走りたい”をかなえてくれるバイクだ



お気に入りのポイント
メタリックな質感とショットガンのような形がたまらない。サイドバルグームにも興味があるハナチャンさんに刺さるポイント。かわいいうえにカッコいいって、ズルくないですか？



モトビルド神原のステッカーは緑、タンクの赤とゼッケンの黄色と、3色がバランスよく配される。右サイドからバイクを見た時にはこの3つが目に入るため、さらにバイクがカッコよく見えると感じているそう



なんといっても目と目ぼれたのがこの赤いタンク。どこを走っていても美しく、風景に溶け込んでほしい主張をしてくれる。かわいらしさと美しさが両立するイタリアンならではの見た目でお気に入りの部分

たまに浮気もしますが…、オフロードが好き!

enjoy Bike life



いよいよ納車！モトビルド神原の社長夫婦と一緒に記念撮影。1日かからずハナチャンのワクワクなバイクライフがスタートした。みんなから羨ましがられる。
すでに注文して、納車日も決まっていたが、モトビルド神原で開催されたファンティック試乗会で再度試乗した。この日は125ccのスクランブラーやプラットトラックにも試乗



散歩コースで走りに行ったところ、大型バイクのキャブを走らせていた男から「もうすぐ夕日だからいい時間なんだからいい写真が撮れるよ」と言って写真も撮らせてもらった。



イントルーダー400に乗っているころ、うまく乗れるようになっていらいとライディングレッスン「ライド・ライク・ア・プロ」に参加
バイク先である「バイクショップウイズ」のオフロードイベントでKT1・250EXC-Fシックスデイズをシェイクダウン。しかし調子が整わず店長のホンダCRF125Fを借りて楽しんだ
指を所有する友人に「草が生えてくるからそれを置放して！」と言われて車両を持ち込み走り回る。最初はふかふか土の上も次第に締まってオフロードの醍醐味になる

バイクも体もガードはしっかり



ファンティック・キャバレロラードに乗っているバイク仲間からもらったようなブーツでも傷めないためにシフトレバーに装着したコム。おかげでブーツにキズがつかなくなった大切なもの



初めて購入したシンプソンのライダーズジャケットには背中、肩、ヒジにプロテクターが入っていて安心。オールレザーでカッコよく、愛車ともぴったり合うお気に入りだそう



スクランブラーにはヘルメットホルダーがないので、ワイヤーロックを利用して自作。タンデムバーにキズがつかないように保護材を巻いた。初めて自分で付けた部品で思い入れがある

オンもオフも走れるってスバラシイ
身軽に乗れるバイクがわたしを変えた

出会ってくれてありがたう、世界が広がる趣味ができた
映画「ターミネーター2」や「ゴーストライダー」を観てクルーザーにひかれたハナチャンさん。主人公たちのカッコよさに、わたしはあれをできたらいいな！あれになりたいたい！とあこがれたという。ならばバイクに乗るために免許を取らなければと教習所へ入校。じつは両親に内緒だったのだが、同居する家族にバレるのは時間の問題。あつという間にバレしまった。父親と理解があつたというが、一人娘を産んだ母からはだいたい洗われたそう。それでも仕事を自分で稼いだお金でやることだから、と了解は取れた。しかし気を付けてねと念を押されたという。
教習所を卒業し、初めて購入したのはススキ、イントルーダー400。あこがれのクルーザーだ。しかしハナチャンさんには合わないバイクだったそう。重たい、取りまわしが大変、コーナーはバンクがしづらい。さらには狭い道のコーナーでライン取りをミスしてしまう。エンジンガードを引っかけた転倒。タンクを凹ませてしまつて、気持ちも折れてしまった。車換のこともあったので次のバイクを決める前に手放したそう。しばらくバイクを持たない時期もあつたけれど、友達に乗ってなかつたヤマハ・WR250Rを買ってこれた。身長167cmのハナチャンさんでも足がながなが着かない腰高なオフロードバイクだ。この経験が多少足りすぎがよくないバイクでも難なく乗れる練習になっていたんだとわかるのは、もうちょっと後のこと。
バイクはジャリ道も走れるバイクがいいなと思うようになった。オンもオフもどちらも楽しく走れるバイクはないものかと調べてみたところ、「スクランブラー」というジャンルがあることを知る。所持している普通二輪免許で乗れるバイクを探してみたらファンティックのキャバレロスクランブラー250を発見。自宅から比較的近い茨城県空間市にあるモトビルド神原にさっそく試乗しに行きおもむいた。乗ってみたらその乗りやすさにびっくりと引き込まれたそう。WR250Rに比べたら足つきはいい。そしてオフではない赤いタンクに心を奪われたという。即決で新車を注文するほど気に入ったそうだ。
スクランブラーを手に入れたからにはそれまでバイクで行なっていた場所へ走りに行った。初めて高速道路を使って那須へ走り出した時には、振動もあまり感じず全流もすんなりできて、これ、ほんとうに250ccのバイク？と感じる一面も、曲がるのも取りまわしもラクで、どこでも行けると思えるくらい。気軽に乗れるためバイクが自分に合わせてくれるような感じもする。じつは以前は内向的な性格で、自宅で一人ゲームをして遊ぶことが多かったというが、今はバイクで外出することが増えて仕方がない。ライダーズカフェに行きようになり、マスターやお客さんたちとバイク談義で盛り上がることも。しっかりと相手の目を見て話ができる明るい

性格になった。両親も変化にすく気が付き喜んでくれる。人と出会いたくさん話をするようになって、バイクで旅をする楽しさも聞くことも多い。北海道ヘッソリタックに行つて、その旅先でオイルやタイヤを交換したりね！なんて話を聞くところから、「バイク」というものがあるとも教えてもらった。最初は、ぜひチャレンジしてみたいと来年の開催を心待ちにしているそう。

CABALLERO RALLY500

ヴィンテージスタイルの本格派

キャバレロ ラリーシリーズでは、サンド(マット)カラーが追加され、既存のオープンと共に2色展開となる。キャバレロ ラリー 500の魅力と言えば、アップフンダーの採用やガード付きヘッドライトなどクラシカルな中にもアグレッシブさを感じさせるデザインポイントがあらわれていることや、道なき道を走破するために、鍛え上げられた足まわりが

挙げられる。前後フルアジャスタブルタイプとされたサスペンションは、共にストローク量200mmと充分。どのような路面であっても、しなやかかつダイナミックなライディングを楽しむことができる。価格は124万円。



CABALLERO FLAT TRACK500/125

人気のフラットトラックタイプ

昨今日本でも注目されている競技、フラットトラックレース。ダートトラックとも呼ばれるそれは、オーバル状のダートコースを左回りに周回し速さを競い合うものであり、高いスライドコントロールが要される。そんなフラットトラックを走るために設計されたのが、キャバレロフラットシリーズだ。フラットトラックマシン格好の前後19インチタイプで足まわりをセットし、トランクションをコントロールしやすいスロットルチューニングが施されている。2021モデルでは既存



のマットトラックの他にシルバーの新品を追加。125cc(81万円)、250cc(91万円)、500cc(113万円)をラインナップ。

XM125

スーパーモタードモデル人気再燃か

エンデューロモデルをベースとし、前後17インチタイヤへと換装されたマシンで戦われるスーパーモタードレース。小



規模なコースで競い合うことが多いため観客も没入できることや、オンロードだけでなくオフロードやジャンプセクションがあることから、熱狂的なファンが存在する。ファンティックもXEFと車体を共通としながら、オンロードパフォーマンスを上げたスーパーモタードモデルXM125が存在する。アップライトで軽量のボディワークはストリートで非常に使い勝手がよく、モタードモデルは世界中で人気が高い。日本への導入は未定だが、上陸を望む一台である。

実車を確認できるショールーム!

モータリスト

SYM、ランプレック、ファンティックなどに興味がある方は、ぜひ足を運んでもらいたいショールーム。実際に現物を確認することができるのはもちろん、専属スタッフが詳しく説明してくれるぞ。



東京都大田区仲六郎 2-41-8 ☎03-3731-2388
営業時間: 10:00 ~ 18:00 定休日: 水・木・イベント開催日

FANTIC

1968年にイタリアで誕生したファンティックは、モトクロスやトライアルレースなどで力をつけてきたブランドだ。現在はビンテージオフスタイルのキャバレロシリーズとエンデューロ及びモタードモデルなどをラインアップ。

CABALLERO SCRAMBLER500

オンロードもオフロードもバランスよし

スクランブラーの語源である交差する、つまり舗装路と未舗装路どちらも駆け抜けられるように考えられたキャバレロ スクランブラーシリーズ。使い勝手のよさはキャバレロモデルの中でも随一と言えるだろう。長兄にあたる500ccモデルを筆頭に、普通自動二輪クラスの250cc、小型自動二輪クラスの125ccがラインナップされている。骨格となるフレームや足まわりは共通のものとされており、500ではダイナミックな走りを、125/250モデルではクラスオーバーの質感を楽しむことができる。価格は小排気量モデルから81万円、91万円、113万円とされている。



XEF250/125

プロも納得のエンデューロシリーズ



レーシングマシンとアドベンチャー&ラリーに二分化され、大人が楽しめるトレールバイクがなくなっている市場において、大人気を博しているファンティック・エンデューロ・シリーズも健在。ペットネームをレーシングマシンに合わせる形でXEF250 Trailに変更した250ccモデルは、ファンティックならではの車両重量104kgという超軽量な車体を武器に、耐久性に富んだエンジンを組み合わせ、オフロードコース遊びはもろちんのこと、そのままでもレース参戦



可能という高いパフォーマンスが口コミで広がる。毎回入荷後即売という人気ぶりだ。

FANTIC XEF125/250

●価格: 81万円/87万円

軽快な走りを楽しめる
プレミアムトレール

レース経験で得たノウハウを車体作り生かし、高品質なパーツを惜しみなく投入。旧車体名はEnduroだったがレース志向ではなく、林道やコースでの走りやすさを狙った、ストリートリーガル・トレールマシンになっている。

主要諸元: 全長2100mm/全幅NA/全高NA/シート高890mm/車重96/104kg



FANTIC CABALLERO 500RALLY

●価格: 124万円

軽量かつトルクフルでビッグオフの味わい

ファンティックの基幹となるキャバレロ・スクランブラー 500をベースに、前後サスを延長し、オフロード性能を強化。トルクのあるエンジンと軽い車体はダートで軽快な走りを披露し、林道ツーリングに最適な1台だ。

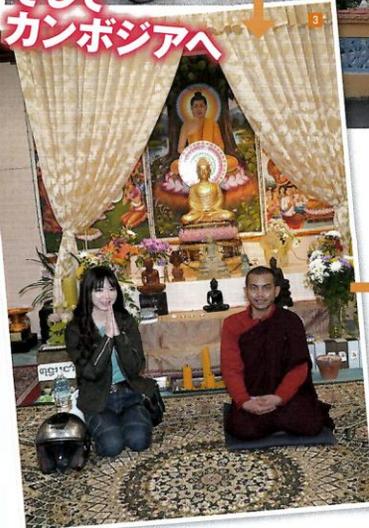
主要諸元: 全長2187mm/全幅878mm/全高1183mm/シート高860mm/車重150kg



そしてカンボジアへ



続いてベトナム



さらにラオス

丁重な作業で料理が作られています。出てきたものがパンとライス以外の肝心の肉が面方と同じもの。ハンバーグ定食とハンバーグを頼んでしまったような気分です。言葉が通じない自分が悪いので仕方なく食べ始めると、美味いんだけどとにかく牛肉が硬い……。本場はこんなもんだなとかきながら、ピタミン剤を飲んだ翌朝のトイレのむじまに、まっ黄色のインカコーラが流し込み完売。お腹も満たされたので町外れの寺院を見て、パキスタン人が経営するお店でバナナチップを買って帰りました。今は海外旅行は簡単にには行けませんが、5カ国を3時間で周遊したような旅行気分を味わえます。特にベリーズとパキスタンには一人で、南米に1人泊るといえるような見聞させます。また、1つ遊び場を見つけたら、



続きは「ゴー・ライド」で!!



最後はパキスタン?

↑パキスタン人が経営するお店には、やたらと流暢な日本語を話す店主がいました。バナナチップを買って外に出ると隣のタイのお店、多国籍すぎて思考がつかない。

この町ひとつで5カ国周遊ツーリング!?



ちばるのふらっと食わせろ

ウェブマガジン 特別編

Chiparu
キャバレロ・フラットトラックで神奈川県愛川町をツーリングしてきたちばるちゃん、NOLANAネットワーク CUTE AMBASSADORとしても活躍中! オフィシャルブログがこちら
※日と2|ameblo.jp/chiparu125

硬い肉はインカコーラで流し込め!

愛車ファンティック・キャバレロフラットトラック250に乗り、オフロードマシン総合誌「ゴー・ライド」で連載中の、食の世界を追求する企画「ちばるのふらっと食わせろ」が、「ウェブマガジン」に登場!

神
川町が、この町には大量のブラジル人とベルギー人が住んでおり、人知れず南米化しています。愛川町は人口4万人に対して外国人が約3000人。神奈川でもナンバー1の外国人居住者の比率です。外国人住民はブラジル人・ベルギー人が多く、タイ・ベトナム・ラオス・カンボジア・パキスタン・バングラデシュと世界宗教が揃い踏み。ブラジル人とベルギー人のキリスト教会や、ベトナム・ラオス・カンボジアの寺院もあり、町はかき回した愛川町に集って、「ふらっと食わせろ」特別編として、愛車のキャバレロフラットトラック250で愛

まずは南米ペルーに到着!



川町を周遊しながら、ベルギー人が経営するスーパーで、ヘルギー料理を食べ、熱心な仏教信者のベトナム・ラオス・カンボジアの寺院を巡り、イスラム教徒のパキスタン人のお店に向かいたいと思います。
愛川町にブラジル人とベルギー人が多いのは、町の中心産業である神奈川県内製工業団地の働き手として、愛川町が受け入れられているから。ブラジル人とベルギー人は牛肉と内臓肉が主食の肉食文化で、町のスーパーでもやたらと内臓肉の部が売られています。今訪れたベルギー人が経営するスーパーでも、たくさんの肉やソーセージがあり、その隣が小さな食事処だったので、メニューが読めない、ヘルギーを注文する。

牛肉と合う♡



コカ・コーラより人気!!



メニューが読めない



牛肉料理がメイン

WeBike! マガジン (WeBike) 21年モーターサイクルショースペシャル

日時:2020年12月13日(日)
会場:千葉興成田モトクロスパーク
主催:JECプロモーション

試乗車総数40台!

2021モデル オフロードバイク大試乗会 in 成田 MX パーク

一日満足 祭りだ!



キムコジャパンからはMXU150SXなどのバギーも出展。試乗オーバルコースも盛況でしたが、残念ながらタイムアウトで試乗できず

年々規模を増しているオフロードバイク大試乗会。今年はオフロードバイクだけでなくE-MTBやバギーまで乗れるとあって、まさにてんこ盛りで大満足。締め切り直前イベントでしたが、本誌宮崎がほぼ全車に試乗して、勝手にバイク・オブ・ジ・イヤーを決めちゃいました!

PHOTO&TEXT / D.Miyazaki 宮崎大吾



サインハウス代表の野口さんは、もちろんファンティックのキャバレロ(500ラリー)で参戦。前を走るのはランプレッタのV200アウトドアカスタム。広島のモトエスエックスさんと参戦していただきました。「写真に2台収まるように頑張りました(笑)」と野口代表

映える
ランデブー



ヤマハから待望の発売がされたYPJ-MT Proも、改めて試乗。公道走行可能とあって、パワーはFANTICの最大パワーの約半分なので、よりペダル操作でスポーツを楽しめるE-MTBですね。ギャップへの吸収性と旋回性ももう少し高いと、個人的には嬉しいかも。スリムでスタイリッシュ。一台欲しいです!

E-MTBも堪能しました!

FANTICのXF1 INTEGRA 160はハイグレードな仕様でモーターもマグネシウム採用。フレームの溶接痕なども消されていて高級志向です。XF1 Integra 150 Trailのモーターはアルミ製、乗り味もややギャップへの当りが強く感じたものの操作感が高く、価格の安いこちらでも楽しかったです。パワーマックスだと勾配のきつい坂も体力使わず進みますよ! これはゲレンデ踏破できるのも納得!



フラットトラックコースで、Flat Track250とRally 500に試乗しました。Rally 500はサスペンションストロークも長いので林道でも楽しそうです。野口社長もエンデュー回に出ているくらいポテンシャルはありますからね!



し
ま
う
ぞ

ダートスポーツ
(造形社)
21年2月号

海から湖へと 作られし大地をゆく



—茨城県・霞ヶ浦—

霞ヶ浦は日本で2番目に大きな湖でありながら、琵琶湖に比べてすこぶる知名度と人気が低い。これは世にありがちな2位の宿命か、はたまた高度成長期に築きあげてしまった悪しき評判のせいかな…。しかしながら、なかなかどうして、この霞ヶ浦はツーリングをしてみるとじつに楽しいところなのだ。いよいよ本格的な冬シーズン到来。真冬のツーリング第一段は、知らざる湖を楽しむべく、500ラリーとともにグルッと霞ヶ浦周遊旅

谷田貝洋暁：ライダー・文
text by Hiroaki Tatagai

武田大祐：写真・キャプション
photo/caption by Daisuke Takeda

かつての汚れた湖水は消え、すっかりきれいになった霞ヶ浦、陽光に光る波打ち際をイタリアが生んだ名車キャブレロ・500ラリーで走ってみれば、ツーリング気分は一気に盛り上がる。さあ、こいつとともに疾走開始だ



タンデムスタイル
(クレタ)
21年2月号

今回のTouring.Japanライダー
谷田貝洋暁
与那国島で3年半の建設業や、北ア
ルプスの山小屋で住み込みバイト
などガチな生き方をしたのち、本
誌で編集修行と編集長を10年ほど
経験。現在は各二輪誌から引っこ
りだこのフリーランス&YouTuberと
して大活躍。最近ではピックアップ系
の仕事が多い影響で、どんなバイクも
ダートに持ち込みたがるようになって
しまった48歳

海から湖へと
作られし大地をゆく
—茨城県霞ヶ浦—

知っているようで知らない
身近なホームグラウンド

茨城県にある霞ヶ浦は、琵琶湖に次ぐ国内で2番目に大きい湖である。はるか昔、社会が、地理の授業でそう習った記憶があるが、千葉県生まれの僕にとってお隣にある霞ヶ浦はわりと身近な存在だ。徒歩や自転車ではちょっと遠いが、バイクで走ればわりとすぐに着く距離感。いわゆるホームグラウンドってやつだろうか？ 特別な目的も、用事もなければ、なんとなくバイクで乗りたくなったときに走りに行く場所がバイクに乗ればあるものだ。僕にとっての霞ヶ浦はそんな場所の一つである。

湖だけに一周したり、逆回りしたり、何度となく走って、いろいろ知った気になっていたのだが、ひょんなことからかつての霞ヶ浦が今は比べものにならないほど大きくなったことを知った。大きいというが、一部だということか、700年前あたりがピークの縄文海進では、現在よりも5mほど海面が高かったらしいのだ。霞ヶ浦はもちろん、利根川流域を含めた関東平野の低地のほとんどは海に没してあり、その水域は今の東京湾よりも大きく、リニア式海岸のように海岸線が入り組んだ内海が広がっていたらしい。自宅の周りも海底だったのか？ と地形図を眺めてみれば、我が家のある

霞ヶ浦の周辺道路はあっちこっちにダートがあったが、現在は完全舗装まであと少しといったところ、ということでは500ララーの独壇場、ピックアップの咆哮を響かせ、大地を猛進する姿はやっぱり絵になる



あたりはからうして陸の上だったろうだが、すぐそばの谷地まで霞ヶ浦から続く海が入り込んできていたようだ。考えてみれば確かに千葉県のあちこちには、昔の人のゴミ捨て場である貝塚が点在し、それが地名になっただりもする。それだけ海が近かったって証拠だろう。實際、家の近所に鉄道を敷いたときに行なわれた調査では、石器や土器が見つかったらしいが、縄文時代にはこの辺りに人が住んでいたに違いない。

そんなわけで今回は、また霞ヶ浦が巨大な入り江だったころ、今より海面高が5mほど高かったころを想像しながらバイクで走り出してみたのだが、おかげで気が付く海中探検である。最初に向かったのは霞ヶ浦の南側

日本橋の巨大湖行あて、驚くほど視界はパッと広いといふことも湖畔のこかしこで茨城県が誇る時、筑波山の700mがひょつりと見えるのである。



にある陸平貝塚。すぐ海底を進むキヤパレロ号の前に現れたのは小高い島だ。なるほど、今こそ裏山みたいな地形だが、当時は山の上だけが海上にぽっかり浮かび、その島に人々が住んでいたというワケだ。いかにも港にすそすそな、小さな入り江のような場所から上陸してみる。島の上部は陸平の名前の通り、真っ平らになっていて、いかにも住みやすそうなお土地だ。この陸平貝塚には住居跡も残っているそうだが、資料によればどうやら、3000年前から約3500年の長きにわたって縄文人が住み続け、穏やかな霞ヶ浦で採ってきた貝を食って、その殻を積み上げた結果が貝塚ってことらしい。しかし、3500年に遡って使われ続けたゴミ捨て場としての恐れ入る。近代で一番長く続いた徳川政権だって300年足らずなのに、現代の貝塚である東京湾の島は高度成長期からの数十年で捨て場所困るくらいに膨れ上がっている。当時の生活は相当エコロジックってわけだ。…なんて思ってしまったが、考えてみれば当時は死ぬか生き残るか狩猟採集の時代。平均寿命は30歳ほどで、なりふり構わず食えるときに食べて、食料がないときは我慢しなければならぬ。エコだのなんだのと悠長なことを言っ

小春日和の中
知られざる霞ヶ浦を求めて



霞ヶ浦ツーリングで飯といたらこの「六兵衛」。名産品はないが、雰囲気なで安くて旨いのがいい。かつては日本中にこんな食堂があったんだが…。コロナ禍に負けず老夫婦が切り盛り中



全国各州に湖は山ほどあるが、バイクで湖岸を走り回りを1周できる場所はそうそうない。霞ヶ浦1周コースは約125kmで信号もなくずっと湖岸を眺めながら走れてしまう。あまりの気持ちよさに、アクセル開けてぶっ飛ばしたいところだが、農道も兼ねているので、あくまでも地元車優先の安全運転で



古代好き、鉱物好きの谷田貝先生によるとこの界隈は古墳も多く貝塚もぎょう山あって、けっこう豊かな土地だったらしい(「エコなんて考えないから、ホイホイホイって貝を捨てまくってた」) そうだ。一体何個を捨てたのか？ 陸平貝塚にて



現代の若者は知らないだろうが、霞ヶ浦には海軍飛行予科練部、通称「予科練」という10代の少年たちを兵士に育成するための大規模な訓練所があった。湖畔には当時の面影を残す司令本部(写真左)やカタバロト跡が残っている

かつて海だった場所



小春日の中
眠る者も
遊ぶ者も
来る者も
去る者も

られる今の時代はなんと豊かなことか、新型コロナ、新型コロナと言われつつも、こうして趣味のバイクで走り回れているのだから、相当恵まれた時代である。

この際この霞ヶ浦浜で泊まってみることにした。帰ろうと思えば1時間も走れば家に着いてしまうような距離、正直この辺りで泊まろうと思ったことなど一度もないのだが、時代はコロナ禍である。あえて遠くへ行くからいならいつもは泊まらないような近場のツーリングスポットに、じっくり2日かけて掘り下げてみるのも楽しかったりするんじゃないの？そう思ったのだ。

まあ、幸いなことに我々ライダーは、走り出してさえしまえば、バイクで風をきっているだけで大抵のことが楽しく思えてしまう、おめでたいイキモノである。

なるる鹿嶋あたりで宿を探してみることにしたのだが、これがけこう苦戦した。巨大な観光地があるわけでもない場所に、ババッとインターネットで予約して、気軽に利用できるような観光客向けの宿は、ほとんど存在しないようなのである。

まあ、この際ビジネスホテルでいいだろうと値段優先の安易な気持ちで選んでみたのだが、着いてみれば結婚式場を兼ねるような、巨大なリゾートホテルだった。和洋折衷に近東地域も混ぜ込んだような不思議な建築、壁には、エジプトのホルスの目まであしらわれている。それにも関わらず、狗獺豪華なロビーにいる。まあ、ほんとに作業着を着た、いかにもお仕事関係の風情。駐車場には現婚感の漂うハイエースがずらりと並んでいた。

北関東にいいのか？ それともエジプトなのか？ たんたんわからなくなってきたが、これも霞ヶ浦の今である。それにしても、そもそも吾輩水中ツリーングの真っ最中、部屋がある隣なら間違いなく海上であるはずなのだ。ただ、広い霞ヶ浦にひょこり飛び出た、多国籍建築の海上ホテルを想像してみる。こは内海、波一つない穏やかな水面がどこまでも広がっている。さて、明日はどのあたりを走つてやろうか？

海から湖へと 作られし大地をゆく

茨城県・霞ヶ浦

広い空と広大な水辺。これを海と言わずなんと言おうという光景だが、およそ40年前までは湖だったのだから、なにかが外れてはいない。それにしてはまず、深層開放的な風景。湖畔はコンクリートで固められているが、そこもかつて千村様の埋積湖があった場所だ。ちなみに2万4,000人の予約検出身の若者が乾地へと向かい、約30%の1万9,000人が戦死をしたという、コロナ禍で大変な時代ではあるが、今の平和のありがたさを思わずにはいられないという光景でもある。



◎荘厳な雰囲気、鹿島神社の奥宮は徳川家康が関ヶ原戦勝のお礼で寄進したもの、北を向いているのは東北からの脅威から守るため、ともいわれている



◎地元民に評判のソバ屋「竹やぶ」にて、ざるかき揚げにするが頼んだ末に、両方食べることになった。うまいのであつという間に完食

海から湖へと 作られし大地をゆく

茨城県・霞ヶ浦



◎新型コロナウイルス禍を祈願して奉納された大助(おおすけ)人形。古くからの各集落の守り神的存在で、東北平定に出兵した兵士がモデルらしい。腹に矢が刺さってしまったのではなく、刀を帯びている姿とか

**鹿島神社も
その昔は島だった**
湖畔に立つ西の一之鳥居から霞ヶ浦を眺めていると、そんな太古の大船団が見えるようだ。
この大鳥居、実際にはもともと内陸部にあったらしいのだが、地盤の隆起や干拓で湖が干上がり、湖水の中である今の場所へ移されたとか。

坂上田村麻呂が活躍した平安のころも縄文代ほどではないにせよ、霞ヶ浦一帯にはかなり大きな海が広がっていた。鹿島神社へ参拝するのにこの西の一之鳥居を船でくぐって島へと乗りつけ、船から直接境内へと上陸していたらしい。
僕もそんな坂上田村麻呂にあやかり、現在の表参道を歩かず、墨の御手洗池のほうから鹿島神社へと上陸してみようとする。低地に沿ってキャハレロを進ませても、確かに御手洗池あたりが、鹿島神社一帯を形成する島の入江になっているのがわかる。たまたまの船を係留しておけつな様かな傾斜地が今なお残っているのだ。
この辺りに昔から住む方から聞いた話だと、子どものころは御手洗池から湧き出す水がもつと豊富で、現在の鹿島神社あたりまでは霞ヶ浦からの湿地帯が続いていたんだとか。その昔、鹿島神社は船での出入りのしやすいいところ側が表だったという話も妙に合点のいく地形だ。
そんな船着場があった御手洗池から急な斜面を登ると、本殿ではなく奥宮の前へ上るのだ。



◎鹿島神社へとやって来たのだが、かつてはこの一帯も霞ヶ浦からつながる海だったそうで、往時はこの御手洗池がある側が神社の正門になっており、ここまで船で入ってきたという。溜み渡る池の中には日本ザリガニが生息。「捕まえて持って帰ってもいいですかね」と谷田貝先生

海と陸のはざまに つわものどもの聖地あり



◎東京ドーム15個分という広大な鹿島神社。古来、神宮と名がつくものは3社だけで、その一つがこの鹿島神社。御祭神が武甕槌(たけみかづち)大神という雷神様だけに多くの武將が祈願をした

ときは縄文からついで変わって数千
年後の平安時代の霞ヶ浦
坂上田村麻呂(さかのうえのむら
ま)率いる大和朝廷の軍勢が、東北
の一だ刀(蝦夷えみし)を制圧する
ため、船でこの海域に集まっていた。
645年の大化の改新後、中央集権
国家を建設した大和朝廷は、実質的な
日本統一を目指して、従わない地方勢
力の武力制圧による実効支配を開始
ところが当時、辺境の蝦夷だけは百何
十年にわたって軍隊を送り込むも、な
かなか平定できずにいた。
坂上田村麻呂は、征夷大將軍として
そんな蝦夷を討伐し、東北征討を成功
させた。日本史で教わる人物だ。征
夷大將軍とは、太平洋側から蝦夷を討
伐する軍の総大將的な役職らしいが、
後に幕府をひらくことになる源頼朝
も、徳川家康も、天皇からの征夷大
將軍に任命してもらって幕府を開く
まで、いわゆる「征夷大將軍」とい
は、そんな太古の將軍様が霞ヶ浦にな
る。



◎参道にある三浦物語「ヨシカ」に古代
霞ヶ浦のわりやすいシラガがあった。個人
的に現代の鹿島を空想した巨大写真に愕然
鹿島神社の歴史も紹介してくれる

の用があったかといえ、東北征討
のための軍事拠点がこの霞ヶ浦にあ
つたらしいのだ。
もちろん海運のほうが都合がよかつた時
代である。大和朝廷を出発し、太平洋
まわりで東北へと進軍する大船団は、
東北の入り口であるこの霞ヶ浦で戦
闘準備を整えたりしていた。
当時の軍事拠点となつたのが、霞ヶ
浦の北浦にある鹿島神社。その昔
は、神宮といえは伊勢神宮と香取神
宮、この鹿島神社の3つしかあつた
くらいだから、相当重要な施設だつた
のだろう。
そんな当時のことは確認しようが
ないが、地形から考えると内海で波も
穏やかな霞ヶ浦は、何万人もの兵士を
乗せた船が集まる基地としては最適
な場所のように思いつく。ここから西に
北への進軍は海をたが、陸路をと
つたかは諸説あるのだが、なんにせ
よ行けることまでは船で移動した
に違いないだろう。

鹿島神社の4つの鳥居の一つ「西
の一之鳥居」。もともと大きかつた
ものが、2013年の再建で日本最大
になった。鹿島神社の東側にある
東の一之鳥居が、この鳥居。そし
て皇居～富士山～伊勢神宮～九
州の高千穂神社は、直線上で結ば
れるらしい。なにはともあれ、古
代の人々は海からやって来てこの鳥
居を通り参拝をしたという



数万年、そしてこれからも 人々の暮らしをささぐえる 霞ヶ浦

海から湖へと
作られし大地をゆく
—茨城県霞ヶ浦—



霞ヶ浦から東北岩手へ 思いを馳せる

常陸国の一之宮である鹿島神宮に祀られているのは、武神、武勳の神様である武甕槌大神(たけみかづち)のおおみ。坂上田村麻呂率いる征討軍は武甕槌大神に奉じてから、東北へと出発したという。

また社殿も、山道に正対して建てられる一般的な神社と違い、北を向いている。なんでも東北の蝦夷を牽制したり、味方に「加護を届けるために北を向いているらしいのだが、大和朝廷にとこの蝦夷征討がいかに重要だったか」ところ。

そんな武神の「加護もあつたらう。坂上田村麻呂は真事、蝦夷の大将

である阿豆流(あづり)を降伏させたらしいのだが、まあ、これもまじ討ちにしたとか、懐柔したとか、諸説あるようだが、14年かけてようやく東北地方を大和朝廷が押さえた。ただこの阿豆流は間違ったところだ。僕がバイクに乗り始めたころ、たか、仲間と鹿島神宮に来たことがある。当時、そんないわれも、意味もわからず、鹿嶋アントラースで有名な鹿嶋あたりで、大きな神社があるから行ってみようぜ?、くらいノリだったと思うが、宝物館(現在休館中)で見た、長さ20以上の直刀、蝦夷の総大将である阿豆流の首の彫像だけは妙に記憶に残っている。

という経緯がわからないが、打ち取った阿豆流の首が、随分後になって奉納されたらしいのだが、その彫りの深い顔は、なかなか日本人離れしていて印象的だった。

14年続いた蝦夷討伐や阿豆流を拿捕については、現代をのぼんと生きる僕からしてみると、侵略以外のなにものでもないような気がするのだが、こと坂上田村麻呂という人物に関しては、ただでは出世欲か名声がほしいか、たのかわからないが、とにかく辺境開拓というアドベンチャースピリットを持った人物だったと思う。方違の大將、阿豆流も、勝てば官軍、負ければ賊軍になるのは世のつづきとして、悪路王なんていう俗名があつたりして、なんとも興味深そうな人物だ。

坂上田村麻呂が遠征の末、築いた対蝦夷の防衛戦を巡って、阿豆流などの攻防を迫つてみるのも、おもしろいんじゃない。

さあ、もうっただけ太古の海中散歩を楽しんで帰ろうか?、夕日にきらめく霞ヶ浦に気をよくした僕は、キヤレロのアクセルをいつもよりも

よこぎりに開けるのだった。



霞ヶ浦は人の手によって湖から湖へ、ヘドロの水から浄化された水へなどなど、人類によって甦りされてきたわけだが、この葦がもたらす生態は計り知れないものがある。そして、あまり知られていないが、霞ヶ浦は夕陽の名所でもあるのだ。湖面の向こうに沈む夕陽もダイナミックで見事だし、日没後のマジックアワーも見応えがある。そんな絶景に気分をよくしたライダーは、カメラを向けると500ラリーのフロントをちよいと浮かせて見せるのだった。

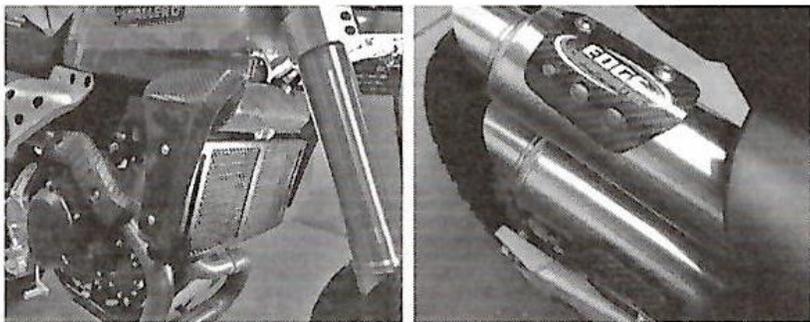




↑本社事務所兼サービスセンターの「モータリスト・ファクトリー」は既に移転完了。独特なウォールペイントが目印だ。■東京都大田区仲六郷2-41-8 ☎03-3731-2388 <https://motorists.jp/>

を展示するシ
ョールームを
同じく大田区
内のサイズモ
ーターサイク
ルに用意し
た。安心して
車両や商品
を見学できる
ともに、サー
ビス体制も万
全だ。

併せて、英国のカーボンパー
ツメーカー「EDGE COMPO
SITES」の国内取り扱い
を開始。ファンティックのキャ
バレロ用にモータリストが提案
したパーツを販売していく。



↑EDGE COMPOSITESによるキャバレロ用のラジエーターサイドプロテクター(2万3100円)、マフラーヒートガード(1万4850円)などを販売開始。さらに今後ラインナップを拡大予定だ。

新設 ランブレッタ、SYMなどの総輸入 代理店が新会社モータリストに移行

今までサインハウスの車両事業部が扱ってきた、ランブレッタ、ファンティック、SYMなどの輸入バイク事業が「モータリスト合同会社」に譲渡されることになった。

モータリストは、サインハウ

ス車両事業部が新設した会社で、同社社長だった野口英康氏が代表を務める。これにより車両販売およびアフターサービスに一段と注力していく。
オフィスは、東京都大田区の国道15号線沿いに設置。全商品を展示するシ

ヤングマシン
(内外出版)
21年3月号

単車倶楽部
(造形社)
21年2月号



FANTIC CABALLERO SCRAMBLER250

フロントタイヤが19インチサイズなので、フロントホイールランプの受けを最大にして積載している。

▶ハンドル左側の取まりがわるいため、わずかに車体を右に傾けて固定。天井上側にフックポイントがあると傾き固定がやりやすい



▲ハンドル幅が大きいためちょっとハンドルを左にきり、ハンドガードも緩めている

オフロード

ハンドル幅のあるオフロードバイクはステアリングをきって収納するが、そうなると積載が一番気になるのは天井とのクリアランスだが、ノーマルならモトクロッサー、EDマシン、トレールまでほぼ100%積載可能。



FANTIC ENDURO250

CRF450Rも積んだことがあるがフロント21インチのオフロードバイクは、ほぼ同じサイズ感だ。車体の傾きや、揺れによっては天井や左側面にクリップが接触。内装が傷つくが、それは仕方あるまい。

スクランブラー&クラシック

カワサキのW800やヤマハのSR400などのクラシック系のモデルならミラーを外すだけで積載可能。最近流行りのスクランブラーはちょっとハンドル幅があるので、車体を右に寝かす必要があるが積めないことはない。

FANTIC CABALLERO FlatTrack500

前後19インチでワイドタイプのタイヤを履くフラットトラックは前気味積んでみるとやはりちょっと側方の視界に圧迫感があり、左後方の確認がしにくくなる。助手席に大きな人が乗っている印象だ。



◀後部、ハッチまでにはまだ余裕がある。N-VANへの車両積載は、ハッチギリギリまで後ろ寄せて積載するのが基本だ



ファンティックの主力となるスクランプラーシリーズ。125、250、500ccの3種類がラインナップされているのだが、基本的にシャーンは同一でエンジンが違うものだ

ランプレッタ、ファンティック及びSYMを取り扱う「モータリスト・ファクトリー」新ヘッドオフィスが誕生した！お洒落感漂うこの空間には2021年の未来漂うバイクが詰まっている！！
PHOTO&TEXT：NANDY KOSUGE (Office NANDY)

旦那さんが一瞥で車両を見ている間に、ご家族の方はこちら二階でゆっくりくつろぐことが出来るでしょう。アイテムはどれもカワカッコイ!!

広い倉庫がベースとなっていて二階に上るとオフィスと共にグッズなどのショールーム。電動アシスト自転車やアパレル、グッズなどは直接購入可能です！



「各ブランドとのつながり、国内のお客さまとのつながりを大切に、今後も最前線を走る覚悟です」と新店舗で意気込みを見せる、代表の野口さん

テーブルを一つとっても洒落た感じが出ているでしょ？他車種オーナーであっても、この空間にいることが至福な気持ちになりますよ

ファンティックからリリースされているフラットトラックシリーズの名が刺繍されているロフスタ
×ファンティックのキャップ (¥4,560/税別)



新年早々にオシャレなバイクを扱うお洒落な新店舗が大開店!!

『モータリスト・ファクトリー』がOPEN!!



オシャレで楽しい外車を見たいならこちら！
2021年1月に新オープンしたのがこちら「モータリスト・ファクトリー」。「モータリスト」とは「モーター・エンジン」を用いて車輪を駆動する、人生を豊かにする乗り物をこよなく愛する皆様の総称として名付けられたもの。…となればスタッフの方々ももちろん全て「モータリスト」なのは当然だ！
取り扱っているのはランプレッタ、ファンティック及びSYMといった海外ブランドのモーターサイクル。そして電動アシスト付き自転車「eBike」の輸入販売に関するにも挑戦して行われる。
更にプレミアム・モーターサイクル・アパレルブランドである「Pando



モータリスト

東京都大田区仲六郎2-41-8
TEL：03-3731-2388
<https://motorists.jp>

Motorist や オフロードライダーに安心と安全のプロテクションを提供するプレミアム・ブートブランドの「TCX」といった取り扱っている商品も、それら商品は実際に手にするとはもちろん、購入も可能なのは嬉しい限り。
今までになかったオートバイの楽しさを提供してくれる場所が「モータリスト・ファクトリー」。是非足を運んでみて欲しい所存だ！

モータリスト・ファクトリーにドーンと描かれた壁面が見事。その前に展示されていたのはエンデューロ50というファンティック製の2ストローク489cc。とてもミニバイクとは思えない迫力がありますね。壁の前に自分のバイクを置いて撮影する……なんて映せることも可能です！



一階の奥には整備スペースが設けられている。新作オプションパーツなどを取り付けた車両はここでいち早く見られることだろう。なお、社用車のハイエースはトラック仕様にカスタマイズされている。これも気になる人は多いのでは？

モータリスト・ファクトリーは京急本線雑色駅から徒歩2分、国道15号線沿いに位置し、首都高速1号羽田線の羽田IC、大井ICからも近い。新旧ランプレッタも置いてますよ！

● 今後のバイク業界を占う ●
シリーズ
“The Top Interview”

モータリスト合同会社 代表

野口 英康

マツダ時代に海外経験を10年。その後、フォードによる経営権の取得を機に二輪の世界へ。ハーレーではビューエルの統括責任者として、その後のKTM、サインハウスでは社長として業績向上に大きく寄与した。そしていま、海外3ブランドを引っ提げ、新たな挑戦を開始した。

—— 今度は何を仕掛けるのだろう。野口さんにはそんなイメージがあります。昨年12月にモータリストを設立されたのですが、まずは野口さんの経歴と会社設立に至るまでの経緯を教えてください。

野口 元々は自動車メーカーのマツダに10年間、勤務していました。商社企画を担当し、北美マツダにも1991年から97年までの6年間駐在していました。マツダはアメ

怖いほど壊れま に奇跡に近いと

ランブレッタは せん。これはまさ 思います。

業の一つであるハーレーダビッドソン・ジャパンに入社しました。

のト
レーニン
グなども担当し
ました。ハーレー

は輸入会社なので、当時は技術系のスタッフが一人もいなかったのです。私はエンジニアでもないので、ハーレーのテクニカルサービス全般を担当する仕事も行いました。その



The Top Interview / vol.23

の頃、アメリカでは三バンが大人気でクライスラーはホイジャー、フォードはクラブワゴンを発売し、それが大ヒットしていました。そんな時、トヨタはアメリカでフレビア(日本名 エヌティム)を、マツダはMPVを発売したところ、大ヒットしました。これがダンピングにあたるということなので、ビッグ3が訴訟を起こしたのです。その時の対応が私が担当した最初の案件でした。

—— マツダを去る決断をした理由が。

野口 フォードがマツダの経営の舵取りを行うようになったことで、マツダに期待していたことが、マツダでやりたかったことが変わってしまっただけです。マツダを退職する時は、いっつかのメーカーから「来ないか」と声を掛けて頂きました。確かにフォードにいたほうが安定していたとは思いますが、もう自動車メーカーには行きたくなかったので、声を掛けて頂いた

ルの翻訳も行ったし、最終的には仙台にある「赤門自動車整備専門学校」と東京の「東京工科専門学校」にハーレーの技術者養成クラスを立ち上げました。私がハーレーに入社した時は、販売台数は年間9000台でしたが、私が退職する頃には倍の1万6000台にまで伸びました。一方のビューエルは、台数が伸びず、2008年のリーマンショックがファイナルクライシスとなり、ついには会社自体がなくなりました。ハーレーには14年間在籍しました。

—— その後はKTMの社長に就任されました。

野口 ビューエルというメーカー自体がなくなつたため、ハーレーを退職する決意を固めました。KTMからは、ハーレー時代はずっとオファーを受けていたので、そのタイミングでお話するところになりました。入社時は副社長待遇でしたが、その後、社長のポストに就きました。KTMで

● 今後のバイク業界を占う ●
シリーズ
“The Top Interview”

社長として仕事をしたのは、ちょうど5年間でした。その後、四輪インポーターの仕事をして2年ほど行った後、サイン・ハウスの社長に就任しました。これもオファーを頂いたため、お引き受けしました。——まさに「引っ張りだこ」ですね。

野口 ともありがたいお話です。基本的に私はあまり断りませんが、もちろんその時々、事情が許せばの話ですが、ご縁を頂いた方々のお話はしっかりとお聞きします。サインハウスでは、スタッフの協力のもと、1年間で売上を30%伸ばしましたが、諸事情により当時、サインハウスが扱っていたオートバイ販売の権利と在庫車両を買取り、新会社を立ち上げることにしました。取扱ブランドはランプレッタ、ファンティック、そしてSYMです。設立は昨年12月のことです。

—— 会社は合同会社です。珍しい形態ですが、どのような理由があるのでしょうか。

野口 ビジネスの道筋をつけるのが私の仕事だと思っております。これが整えば後進に道を譲ろうと考えています。でも、会社が株式会社と株の譲渡が必要となります。いまの若い人は、そんなお金をそう簡単には作れないでしょう。合同会社だと会社を譲る時の煩わしさを省けるので、あえて株式にはしなかったというわけです。

—— 独立後は様々な声聞かれるようになったと思います。

野口 そのそうですね。不安視されるかたもいらっしゃいます。そんな時は、私ほどのような考えのもと、この事業を始めたのが、どういうバックグラウンドがあるのか、どのようなスタッフがどういったテクニカルサービスを展開するのか、といった説明をお聞きします。まずはランプレッタ、現状の動きはどのよう

私たちの仕事は、販売店様の要望をカタチにすること

—— 3ブランドについてお聞きします。まずはランプレッタ。現状の動きはどのよう

な感じでしょうか。

野口 そうですね。他メーカーのスクーターと比較される方も多いのですが、具体的に比較した方ほど、ランプレッタがいい、と言っています。支持される理由は2つあります。1つはスタイリング。ランプレッタが好きな方の多くは、そこにシトロンのファッショニヤ性を求めます。こいつ方には、まさにベストマッチです。けれども、ランプレッタが現代風のデザインだったから、ランプレッタを置く必要はないと考えるのです。もつとはトリアルル的なサインハウス時代も含め3年扱ってきましたが、怖いほど壊れません。これだけ壊れないのは奇跡に近いと思います。この話をすると、販売店ではとても安心されます。

—— それは大きなアピール材料ですね。では、ランプレッタの取扱店を増やすための活動と既存店への対応については。

野口 弊社の仕事は、販売店様がバイクを売るためのお手伝いをする事です。弊社ならこつこつのお手伝いができます。と提案したうえで、数ある商材の中で、ユーザーに提案できる良い商材を一つ増やしませんか、とアプローチします。すでに弊社の製品を扱って頂いている販売店様には、こちらから「〇〇をやってみませんか」という依頼は一切行いません。もちろん提案はさせて頂きますが、あくまでも主体は販売店様。そういったなかで、例えばは店で試乗会をやりたい、と希望すれば、私たちが試乗車を用意します。販売店様の意図が固まったら、徹底的にお手伝いをさせて頂く。つまり私たちの仕事は販売店様の要望をカタチにする事です。

—— 現在の販売代理店の数と販売台数目標は。

野口 全国で40店です。ただ、店を増やすというよりは、確実に毎月コンスタントに一定台数を販売できる販売店を30店くらい作り、そこをコアに展開しようと考えています。台数目標は年間400台。数年かけてその水準にまで引き上げます。ただ125cc、200ccのマーケットの年間販売台数は10万台ちょっと。その中の400台ですから、微々たるもの(笑)。マーケティング的には、全然小さな目標です。不可能でない数字に向かいたい、というのが私の考えです。

—— ファンティックについてはどうでしょうか。

野口 日本は80年代半ばにはトライアルブームが発生しました。インポーターも存在したのですが、ブームの終焉とともに輸入業者も何社が変わったため、イメージとしては新しく感じられると思います。一部、年配の方からは「ファンティックって、トリアルルのファンティック」と聞かれることが少なからずありま



サインハウス時代、東京電一ターミネーターのライオンでバイク誌イメージキャラクターのタレント、つるの剛志さんにランプレッタ V200S Postal を贈呈



KTM時代、優勝販売店代表とKTMファクトリーライダーのハリシグス選手らとKTMスクーターを愛用した時のコマ



野口 ランプレッタは一度失われたブランドです。メーカー自体は長い歴史を持つのですが、残念ながら思っていたほど名前が浸透していません。そこで以前、BDSさんの会場で車面を展示させて頂きましたが、これに名前も徐々に浸透し、昨年の夏頃から徐々に売れるようになって

モータリストの広告は、すべてイラストで表現している。写真に比べ注目度は高いという



てきました。販売店様でも月に一台はコンスタントに売れるようになってきています。お客様に対しては、メーカーについて事細かに説明をさせて頂くケースは少なからずありますが、ランプレッタを取り扱って良かっただと思つのは、今まで出会ったことのないお客様に出会えることです。以前はハーレーやKTMなど、スクーター以外のモデルを扱ってきたため、スクーターに乗るお客様との接点はほとんどありませんでした。けれどもいまは、ファッションやライフスタイルを重視する考え方に触れることで、彼らの趣味や趣向が理解できるようなりました。弊社と弊社の商品を扱って下さっている販売店様にとって、非常に大きな収穫だと思います。

Ride Fun Together



motorists.jp

ですが、ほとんどの方はご存知ない。「このメーカー」という語間から会話が始まることが多いですね。取扱店は現在の取扱店が全国30店で目標販売台数は年間8000台です。私はそれくらいは販売できる力のあるメーカーだと思います。

——海外での評価は。

野口 ファンテックはヨーロッパでしか販売されていません。北米での販売もなくアジアでもファンテックを売っているのはウチだけです。今年からドイツやオーストラリアでも販売される予定です。生産はすべてイタリア国内なのですが、ここには強い拘りがあるのです。ファンテックをひと言で表現すると「真面目な会社」と言えます。3度目の再生となる今回は、イタリアの投資家集団が出資し復活したのですが、そのグループのオーナーはイタリアにある企業にしか出資しません。世界に向けて製品を発信するまでもなくイタリア企

業を育てることを目的としていからずです。投資し成長しなから抜こうという考えではないのです。これは余談ですが、ミランで開催されるEイクマでプレゼンテーションを行う時は、どのメーカーも英語で話します。けれどもファンテックだけはイタリア

電動モビリティの時代を先取りした楽しさの提供は十分に可能

——大きな安心材料ですね。次にSYMはどうでしょうか。野口 ご存知の通り紆余曲折がありました。ホンダ車のOEM生産を請け負っていたメーカーであり、現在はピュンタイの四輪車も生産している。技術力があります。KYMCOのような、斬新な技術やきらびやかさはないけれど、真面目に製品を作っている。良く走るレスポーターだし壊れないんです。職人気質を感じですね。シェアについては、台湾ではKYMCOには及ばないものの、高い

ア語通ず。もちろん英語は話せますが、そこはあえて曲げないんです。我々はイタリアの企業である、という主張ですね。それがプライドなのです。そういう姿勢が信頼にも結び付いているのかなとプライドの高い人は、途中で投げ出したりはしないものな

シエアを誇ります。ヤマハとほぼ同等の16%くらいです。欧州では、国によって異なりますがSYMのシェアは高いですね。なかでもドイツでは根強い人気があります。話は逸れますが、ランプレッタはSYMの工場を生産しています。ランプレッタのスタッフが駐在しており、品質チェックを行っています。設計はイタリアだとしてもSYMが製造委託を受けています。

——ユーザーのSYMに対する印象はどうでしょうか。

野口 よくある、という感想が多いです。世界的に製品供給が滞っている

いまこそが、SYM 拡販のチャンスなのだと思います。

——というところは、生産ラインは止まってないわけですね。

野口 正常に稼働しています。これが強みです。これは本体だけではなくパーツも同様。国内に多数、ストックしています。パーツは注文頂いたらその日のうちに出荷できる体制を整えています。国内メーカーと同等かそれ以上だと思います。これはSYMに限らずランプレッタもファンテックも同様です。

——販売店数

野口 小池都知事が2020年までに都内で販売される新車すべてをハイブリッド車（HV）や電気自動車（EV）に切り替える方針を示しました。

野口 それが世界的な潮流であれば、仕方ないことだと思います。過去にも技術の進歩、技術革新による壁を乗り越えてきたので、超えられないことはないと思います。個人的な好みで言いますが、私は内燃機が好きなのですが、商売とは別。その時代に適応できるような方法を考えるでしょう。幸いSYMはEVバイクを製品として持っていますし、ネットで発表するなどの産業界に手は打っています。ファンテックについてはすでに進んでいます。元々、このメーカーが復活したきっかけは、電動アシスト自転車であり、これが最初のモビリティだったのです。

——電動モビリティにも目が向く。

野口 オートバイがEV化し

価格が上がったら、販売台数は減るでしょう。そこでポイントとなるのは、買わなくなった人に対する対策です。彼らの多くは、間違いなく楽しさを忘れたくないと考えている人たちです。そんな彼らには、ファンテックの電動アシスト自転車を使った遊びを提案できるだろうと考えています。フルサスペンションのマウンテンバイクは、日本では高級車のグレードに入ります。一番安いもので40万円後半です。でも、モーターとバッテリーを備えたフルサスタイプの自転車としては、決して高いわけではないのです。バッテリーの容量は現在、日本で流通している電動アシスト自転車の中では最大クラス。モーターも、トルクウェイトレシオは世界一と言われているモノを積んでいます。このソニーの製品は、弊社ですべてに抑えています。そういう意味では、違う種類の、しかも電動モビリティの時代を先取りした楽しさは、提供できると思っています。



と目標販売台数について教えてください。

野口 新車売っている販売店数は20店です。過去に販売経験のある販売店は300店ありまして、実際に動いている店は200店ほどです。リストを引き継いでいるので、確かな数字です。台数目標ですが、将来的には、以前のインポーターと同じ水準への引き上げを考えています。最も売った年で50000台で、その前後でも40000

台は販売しているの

で、そこを目標にしています。まずは1000台ですね。SYMはリースナブルで良い商品だと思います。販売価格については、国産メーカーを抜く一部の販売店から、「ウチは3万円値引きしているの、それに合わせてほしい」という話を受けることがありま

——コロナの影響はどうでしょうか。

野口 物流面に深刻な影響が出ています。コンテナ不足ですね。3メーカーでも生産は滞りないのですが、輸入が

滞っているのです。また、物

流費（コンテナの運賃）もこの一年の間に驚くほど値上がりしました。航空便もかつてない需要の高まりから、国際貨物の運賃も高止まりしているのが現状です。

——この先、どのような展開を考えていますか。

野口 オートバイの面白さを、可能な限り伝えていきたいと思っています。オートバイは、単なる「モノ」ではなく「乗って楽しむモノ」です。遊びのフィールドがもっと楽しさをイラストで表現しているのです。他社ではあまり見ない手法だと思っています（と聞く）。雑誌の掲載ページをみて、この広告、販売店の要望に応じて、広告そのものをポスターにし、店に貼って頂いたりします。



モーターリスト社内に展示されたCABALLERO Scrambler 500とFANTIC Enduro。2FにはeBikeを展示